

進路指導部だより

道しるべ

秋田県立支援学校天王みどり学園

進路指導部報 第126号

平成28年5月16日発行

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成

子どもたちの幸せのために

校長 遠藤 邦子



風薫る新緑の季節、本校では5月7日に県内の特別支援学校のトップを切って“運動会”を行いました。

あいにくの雨のため、隣接する総合教育センターの体育館で、保護者や地域の方々の大きな声援を受け、小学部1年生から高等部3年生までの全校児童生徒が、日頃の練習の成果を力一杯、発揮しました。

今回の運動会で、本校の教育目標である「一人一人が輝き進んで社会参加できる児童生徒の育成」の目指す姿が随所に見られました。一人一人がかけがえのない存在であることを知り、満面の笑顔で踊り競い合った応援合戦で精一杯輝いていたこと、また、同じチームの小・中学部の下級生に優しく声をかけ協力した遊競技の場面は、進んで社会参加することにつながっていました。毎日の学習の積み重ねや家庭、地域での活動が一人一人の力となり、運動会で発揮できました。皆様のご支援ご協力を改めて感謝いたします。

さて、進路指導部だより「道しるべ」は、昨年度は8回発行いたしました。学校での進路活動の様子や進路に関する情報、卒業生や余暇活動の情報等を掲載してきました。家庭でもすぐに取り組みそうな進路に関する内容など、盛りだくさんの情報をお伝えしました。

国語辞典によると“道しるべ”とは、「通行人が迷わないようにどこに通ずるとか、その道のりとか、進むべき方向とかを教える立て札」を意味します。今年度も、この進路だよりという立て札を掲げ、わかりやすい情報を発信していきたいと思っております。

子どもたちの幸せのために、職員一丸となってがんばりますので、保護者の皆様、地域の方々、そして天王みどり学園を応援してくださるすべての皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

頑張れ！ 社会人1年生！！

3月に本校高等部を卒業した20名の皆さん。4月からはそれぞれの進路先で新たな生活をスタートさせました。先輩たちの頑張りは在校生の手本になります。学校生活で培った力を発揮しながら新しい環境で一人一人輝きましょう！

しまむら天王店



店舗やバックヤードで商品の整理や品出しなどの作業を中心に行っています。9時45分から19時15分までの長い勤務もありますが、いろいろな仕事に挑戦し、頑張っています。電車通勤にも慣れてきました。

ショートステイげんき



老人介護施設の清掃の仕事に就いた鈴木康太さん。勤務初日は緊張した表情でこれからの勤務について説明を受けていました。実習での真面目な勤務態度が高く評価され、この日を迎えることに繋がりました。

ウエルビューいずみ



入所式では、元気に自己紹介をしたり、たくさんの先輩方にお祝いをしてもらったりしました。毎日、レクリエーションやドライブなどをして過ごしています。

ほのぼの



ほのぼのの勤め始めた大門優奈さん。毎日遅刻せずに頑張っています。ネーム刺繍を取り除く難しい作業を行っています。

— 進路指導部員紹介 —

進路指導主事：小川成樹
小学部：門間陽子、佐藤瑞恵
中学部：安田幸道、伊藤望
高等部：筒井仁、武田奈穂
加藤由子

今年度も、校内外の進路に関する様々な活動や情報を中心に、進路指導部だよりを年8回発行する予定です。取り上げてもらいたい内容などがございましたら担任や各学部の進路指導部員までお知らせください。